

● がんの教育・普及啓発 ①子どもへの教育、 ②国民に対する教育、 ③患者、患者家族への教育

施策 (手段)	アウトプット指標 (手段の達成度を見るものさし)	中間アウトカム (中間成果)	指標
1 算数・理科の 学習教材	算数・理科 教材の 活用状況	◆①子どもの時から、 がんに対する正しい知識と、 がん患者に対する正しい認識を持つ	「早く見つけば治るがんがある」と回答した、児童・学生の割合
2 教育の 普及	教育の 普及状況	②国民が、がんの予防と 早期発見につながる	*国民調査による、がん予防、 早期発見、がん患者への意識調査
3 教育の 普及	教育の 普及状況	自分の病状や 環境が整った	*「自分の病状や治療について 学ぶ場があった」と回答した 患者の率
4 教育の 普及	教育の 普及状況		
5 教育の 普及	教育の 普及状況		
6 教育の 普及	教育の 普及状況		
7 教育の 普及	教育の 普及状況		
8 教育の 普及	教育の 普及状況		
9 教育の 普及	教育の 普及状況		

分野アウトカム (分野別成果)	指標
国民ががん予防に向けた行動をとる	⇒ 予防分野
国民ががん早期発見につながる行動をとる	⇒ 早期発見分野
自分や家族がんに罹患しても、それを正しく理解し、向かい合うことができる	「治療の見通しをもって、自分らしく日常生活を送れている」と回答した患者の率
*患者が他者から偏見を受けることなく社会生活を送れている	⇒ がん患者の就労を含む社会的問題分野

生活者の
ニーズを
満たす
ための
取り組み

生活者の
ニーズを
満たす
ための
取り組み

生活者の
ニーズを
満たす
ための
取り組み

【ワーク用のアウトカムと指標の作成方法(説明)】
 国の第2期がんで対策推進基本計画とその進捗管理指標一覧をもとに、インターネット上で公開されている都道府県のがん対策ロジックモデルの内容も参考にし、事務局でマップ化を試みた。指標については数が多いため、今回のワーク用として、包括性の高い指標を選択して記載
 *は、ロジックモデルのバランスの補完の観点から、事務局にて追加